

日本アーティスティックスイミングチャレンジカップ 2022
監督者会議資料

公益財団法人 日本水泳連盟
競技委員長 鈴木 浩二
A S 委員長 本間 三和子

1 新型コロナウイルス感染拡大防止について

- (1) 日本アーティスティックスイミングチャレンジカップ 2022 は選手の健康を第一に考えるとともに会場での感染拡大防止のために、事前申請により発行された大会関係者およびクラブ関係者席の AD カードを所持しない一般の方の水泳場内への入場・観戦はできない。
- (2) 大会参加者は、二次要項の「大会の参加に当たって」【別紙 1】を順守すること。また「大会の参加に当たって」の条件に加え、別紙「新型コロナウイルス感染拡大時における水泳競技会出場について (2022/07/25 再通知)」に従うこと。※来場 72 時間以内 (正当な理由がある場合は最長 1 週間以内) のウイルス検査 (PCR、TMA、StAmp、抗原定量、抗原定性など) を行い、陰性を確認する (陰性証明書は不要、後日陽性となった場合に提示できるような記録は必要)。など。
本大会では更なる感染拡大防止対策を講じる場合がある。施設内では、係員の指示に従うこと。
- (3) 大会関係者およびクラブ関係者は、大会ホームページ(以下 H P という)からダウンロードした「健康チェック表」を毎日提出すること。また、新型コロナウイルス接触確認アプリ (COCOA) を活用できるよう準備している場合は、電源を ON にした上で Bluetooth を有効にすること。尚、個人所有の携帯端末の諸事情によりインストール不能な場合はこの限りではない。
- (4) 大会期間中は徹底した感染拡大防止対策に努め、自宅～大会会場～宿舍の移動のみとし、外出は控えること。

2 資格の確認、出場順の抽選、登録情報の確認について

- (1) 申込者全員の資格確認済
- (2) 出場順の抽選は 8 月 9 日 (火) 13 : 00 より行う。暫定スタートリストは 16 : 00 を目途に「SEIKO アーティスティックスイミング・リザルト速報サービス 2022 年」で公開する。
- (3) 監督者会議に予定していたプログラムの訂正、SEIKO リザルトシステムの登録情報の確認について、8 月 9 日 (火) 公式練習時間内にピジョンボックスから受け取り、18:00 までに受付に設置したボックスへ投函すること。当日来場できないクラブは確認されたものとして取り扱うため、暫定スタートリストの表記に訂正がある場合には、8 月 9 日 (火) 18 : 00 までに指定の方法で受け付けを行う。
- (4) 監督者会議資料は、8 月 9 日 (火) 13 : 00 を目途に H P に公開する。予めチーム責任者に通知したメールアドレスにて、17 : 00 まで質疑を受け付け、Q & A として 18 : 00 を目途に H P に公開する。質疑がない場合の公開はない。
- (5) エントリー時に補欠登録をしたデュエット、チーム、フリーコンビネーション、ハイライトルーティンについては、メンバー変更の有無に関わらず競技開始 2 時間前 (エントリー締切時刻) までに、最終エントリーを所定の用紙でエントリーボックスに提出すること。エントリーボックスは 2 階選手受付に設置する。
- (6) 棄権する場合は、競技開始 2 時間前 (エントリー締切時刻) までに、所定の用紙をエントリーボックスに投函すること。以後、やむを得ず棄権する場合、速やかにレフリーに書面で届け出ること。
- (7) 「新型コロナウイルス感染拡大時における水泳競技会出場について」に掲載の通り、発熱の発症等により、会場へ入場不可または出場できなくなった場合は文書で証明された場合のみ特別

措置が認められる。8月9日（火）以降は、発症した時点で直ちに「特別措置申請書（棄権申請）」「特別措置申請書（エントリー申請）」を書面でレフリーに提出すること。

3 競技について

- (1) 本大会は、(公財)日本水泳連盟諸規則および本大会競技要項に基づいて行う。安全・感染防止を最優先とし、大会を円滑に進行させることを目的として、競技規則を一部変更して実施する。
- (2) 本大会は、全ての競技について映像で記録する。
- (3) 全て単独のイベント(競技)として決勝のみとし、予選は行わない。
- (4) 全ての競技は、100点満点とする。
- (5) 競技時間についてはホームページ掲載の別紙参照。競技進行状況により、競技時間・練習時間に変更がある場合は場内で告知する。入場時間に変更がある場合は、受付にて案内する。
- (6) 開会式、開始式は行なわず、開式通告のみとする。
- (7) ソロテクニカル・デュエットテクニカルの2種目にプレスイマーをおく。
- (8) 以下の競技種目は休憩を設ける
 - ・ソロ FR (26) 13番と14番の間
 - ・デュエット TR (31) 16番と17番の間
 - ・デュエット FR (41) 21番と22番の間
 - ・チーム FR (25) 13番と14番の間
- (9) JAPAN Junior チームが男子ソロフリー1、ソロテクニカル（男子とは規定エレメンツが異なるため女子の最終順に男子1が出場する）、デュエットテクニカル（2組のうち1組はミックステュエット規定要素を用いることから、デュエットテクニカルセッションの最終順に出場する）、デュエットフリー、チームテクニカル、チームフリー、フリーコンビネーションにオープン出場する予定。出場順抽選には含むが、ランキングには含まない。
- (10) 本大会では全日程を通じて競技中に発生した事項に関する抗議は、その競技終了後に発表される正式結果の時刻から30分以内にクラブ代表コーチが、文書で審判長（レフリー）に提出する。

4 表彰について

- (1) 表彰式は各種目とも正式結果発表後に行う。
- (2) 各種目1位～3位にメダルを授与し表彰する。（実際に泳いだ選手にのみ授与する）
- (3) 選手の所属が複数ある場合においても、競技会ではひとつの所属を選択して出場すること。表彰式では、種目ごとに異なる所属のウェアを着用してはならない。

5 会場について

- (1) ADカードを持っている選手・関係者以外は入館できない。ADカードは来場初日に受付で配布する。ADカードホルダーは各自で準備すること。
- (2) 館内にいるときは、ADカードを常時首から下げて着用すること。また入退館に際しては、ADカードを提示し、係員の指示に従うこと。紛失した場合は、有償（3,000円）にて再発行を受けること。
- (3) 選手・コーチの入退場口は2F観客席6番入口とし、プールエリアへはダイビング裏の階段を通過してプールサイド・更衣室へ入退場することとする。事前申請のあったクラブ関係者は入場ゲート入ってすぐの1番入場口より入場する。プールに向かって右側が選手・コーチ・付添席、中央が日水連関係者席、左側がクラブ関係者席とする。
- (4) 大会会場への入場開始時間を開場、最終退場時間を閉場とし、プールエリアへの入場・退場時間と合わせて日程表に記載する。開場時の入場は、その日の競技に出場する選手と付添を最優先とし、規制入場とする。
- (5) プールサイド・更衣室の使用は、競技順により制限する。プールエリアへの入場・退場時間は日程表に記載。当日競技に出場しない選手は、観客席待機のみとし、プールサイド・更衣室の

使用は出来ない。

- (6) ダイビングプール裏側、プールエリアへの通行口において、入場種目毎に指定された選手ADカードの色シールを確認する。2階観客席と1階プールへの移動階段は、片側通行とする。
- (7) 選手は、自分の競技終了後、なるべく速やかに退場すること。ミーティング等は控えること。
- (8) 入館前に、手指消毒をし、検温を受けること。入館時の検温で37.5以上あった場合は、別の場所で再度検温を行う。その結果、37.5度以上あった場合は、入館することができない。救護スタッフの指示に従うこと。入館時の判断基準は【別紙2】参照。再入館する際も、手指消毒・検温を受けること。
- (9) 「健康チェック表」の提出について
 - ① HP からダウンロードした「健康チェック表」に、事前に必要事項を記入すること。「健康チェック表」は、公式練習日を含め毎日大会会場への入場時に提出すること。
 - ② 「健康チェック表」には以下の通り記載すること。
 - 体温・体調：入場2日前、1日前、当日の3日分を記載すること。
 - 責任者確認：上記の記入に間違いがないことを確認してサイン。
 - ③ 回収した「健康チェック表」は返却しないので、記載内容を写真等で保管すること。
 - ④ 大会期間中、外出後の再入館の際は、入館口での検温を行うが、上記の用紙の提出は必要ない。再入館を前提に外出する際は受付でADカードに外出シールを貼り付ける。
- (10) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- (11) 会場内は、使用エリアを限定する。立ち入りを許可された時間、エリアを順守すること。選手・付添・コーチの待機・控所・荷物置場所は、観客席のクラブ指定エリアのみとする。館内動線を守ること。荷物は最小限に留め、貴重品はクラブ責任者が管理すること。
- (12) 「競技会場における商業ロゴマーク等についての取り扱い規定」を厳守すること。
- (13) 観客席の座席は、少なくとも一つ以上空けて使用することし、赤いテープで印された着席禁止席は使用しないこと。人との距離・座席間の距離を保つこと。選手・コーチの食事場所は、観客席とする。食事について、感染予防のため、観客席で人との距離を保ち、会話を控えて単独で取ること。ドリンクは、各自で保管し回し飲みはしないこと。飲みきれなかったドリンクは持ち帰ること。
- (14) 観客席、通路は外履きで通行すること（裸足の通行は厳禁とする）。また、プールサイドで選手は裸足、コーチは上履きの使用可。観客席からプールサイドや更衣室に移動する際は、階段上で外履きをビニール袋などに入れて保管すること。外履きでのプールサイドへの立ち入りは厳禁とする。
- (15) 飲食物・持ち物等は、自分専用の物を用意し共用しないこと。従って、靴、タオル、脱いだ服を入れる袋など自分専用のものを持参すること。
- (16) メインプール男子・女子更衣室は女子選手、サブプール男子更衣室は男子選手およびプール職員、サブプール女子更衣室はJAPAN Junior チームとプール職員が使用する。更衣室は着替えのみに使用する。更衣室は、密を回避し、滞在時間を短縮のため、更衣のみとする。更衣室内での飲食は禁止とする。ロッカーを使用することはできない。更衣室内の置き荷物は、忘れ物として扱う。また競技会終了後、残った忘れ物は処分する。
- (17) 練習および競技中、プールサイドへは必要最小限の物のみ持ち込み可とする。各自でビニール袋やナップザックなどを持参し、全ての持参品をひとまとめにし、外から誰が見ても分かるようにクラブ名と氏名を大きく明記すること。
プールサイドでの水分補給を認めるが、各自で責任をもって管理すること。
- (18) 各自でマスクを保管する袋を用意し、他人のマスクと間違えることのないようクラブ名・氏名を明記すること。泳ぐとき以外は、原則として常にマスクを着用すること（更衣室・招集所・選手控え場所・観客席・プールサイド・トイレなど）。競技前にはずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。（マスクは、選手イス・脱衣ボックスに、直接置くことのないよう注意すること）招集所内では、他の選手との十分な間隔をとって、マスクを外すことができるが、会話は慎むこと。使用済のマスクはゴミ箱へ捨てずに持ち帰ること。
- (19) 会場内で発声を伴うランドリルは禁止する。ランドリルをする際はマスクを着用し、音量に注

意する。

- (20) コーチは、練習時プールサイドから水中にいる選手への大声での指導を控えること。競技・練習前後のマスクをしていない選手との会話では、マスクに加えフェイスシールド、またはアイガード・ゴーグルを着用し、眼からの飛沫感染も防ぐこと。指導者同士の会話は最小限に留めること。
- (21) 観客席退出時の片付けを徹底すること。ゴミ袋を持参し、各自が持ち込んだものから出たゴミはすべて持ち帰ること。スポンサー飲料の殻は指定場所へ分別して捨てること
- (22) 公式掲示板を2階選手入退場口観客席通路に設置する。掲示内容を確認の際は、周囲の関係者との距離に留意し、譲り合って順番に確認すること。
- (23) 本大会では2階観客席のクラブ応援席を含め、2階観客席選手席では、全て競技の撮影をすることができる。
- (24) 選手・コーチともにプールサイドでの応援・観戦は出来ない。競技時間中、選手・コーチは観客席に設けられた応援席エリア（演技しているクラブのみ使用可。演技終了後は次の演技クラブと交代）に、着席して応援ができる。拍手・手拍子は認める。大きな声での会話や、大きな声を出しての応援をしないこと。
- (25) クラブの横断幕を観客席の指定場所へ掲出できる。指定場所は【別紙3】参照
横断幕掲出の際は、設置物を傷つけないよう注意すること。また、クラブ関係者がいない場合、設置・回収時のみコーチ・付添の立ち入りを認める。
- (26) 毎日出場する1種目めの髪上げは、できるだけ宿舎で済ませて来ること。出場2種目め以降や、宿泊なしで会場入りする場合の髪上げについては、観客席で行うことを認める。尚、レジャーシートを持参し、広げたくて髪上げし、髪やゼラチン、ピン類で床を汚さないこと。
- (27) メイクアップは、観客席で行うことを認める。
- (28) マッサージベッドは、次の2か所で使用ができる。
 - 1、サブプールのプールサイドの指定エリア。期間中はベッドを置きっぱなしにできる（持ち帰り不要）。但し、使用時間はプールサイドに入場できる各種目の該当時間内および該当競技出場者に限る。
 - 2、2階観客席選手出入口外側の軒下スペースに置いて使用できる。毎日持ち帰る。但し、このスペースには囲いはない。
- (29) プールエリアにガラス製品を持ち込まないこと。（メガネ、マニキュア・化粧品の瓶など）
- (30) 競技直前のメイク直しを認める。密にならないよう細心の注意を払うこと。
- (31) 競技後のシャンプー、髪下しは宿舎に戻ってから行うこと。但し、競技後、宿舎に寄らず帰宅する場合、シャワー室でのシャンプー使用を認める。シャワー室が密にならないよう各自の演技終了後、速やかに行うこと。シャワー使用後は排水溝を清掃し、詰まった髪の毛・ゼラチンは除去してゴミ袋に入れ持ち帰ること。ゼラチンはシャワーで流さず、持ち帰ること。

6 大会・競技について

- (1) 主催・主管・大会役員紹介
主催：(公財)日本水泳連盟
主管：(公財)東京都水泳協会
後援団体・特別協賛・協賛各社・協力等についてプログラム参照
レフリー：山田智子 チーフレコーダー：坂尾国香
- (2) 緊急連絡先
本部宿舎 L stay&grow 晴海（エルステイアンドグロウ晴海/旧晴海グランドホテル）
03-3532-6030
※大会本部の責任者連絡先電話番号は、クラブ責任者宛に別途メールにて通知する。
- (3) 選手・付添動線
ウォークオンライン、コーチ席、競技中の選手・コーチ動線は【競技プール図】参照
各競技終了後、表彰式を行うため、上位3位までの入賞者は、本部席横に集合する。
- (4) プールコンディショニング

室温・水温は、プールサイドのガードスタッフエリアに掲示される。

(5) 医療体制

本大会は、救護員が常駐し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止および、競技役員・出場選手の感染予防にあたる。期間中、選手の健康管理は、各クラブで十分注意し、発熱者および怪我や体調不良があった場合は、直ちに大会本部に申し出ること（救護室に直接立ち入ることはできない）。その後は、大会本部の指示に従うこと。

(6) 広報・報道対応

本大会は、報道取材を行わない。なお、表彰式後、写真撮影を行う。

(7) スポンサー提供飲料（ヤクルト）

本大会スポンサーのヤクルトより、飲料が提供される。

要冷蔵のヤクルト製品は大会本部で、その他の常温飲料は受付付近で配布する。

冷蔵庫開閉の際は、手指消毒を行い、飲料は飲み切ること。

空いた容器は、専用のゴミ箱に捨てること。

ペットボトル飲料の飲み残しは、持ち帰ること。

(8) テレビ放映・インターネット映像配信

テレビ放映・インターネット映像配信は行わない。

(9) 競技結果の配信

競技結果を、以下の公式サイトにて確認することができる。

SEIKO アーティスティックスイミング・リザルト速報サービス 2022 年

<http://swim.seiko.co.jp/artistic/index.html>

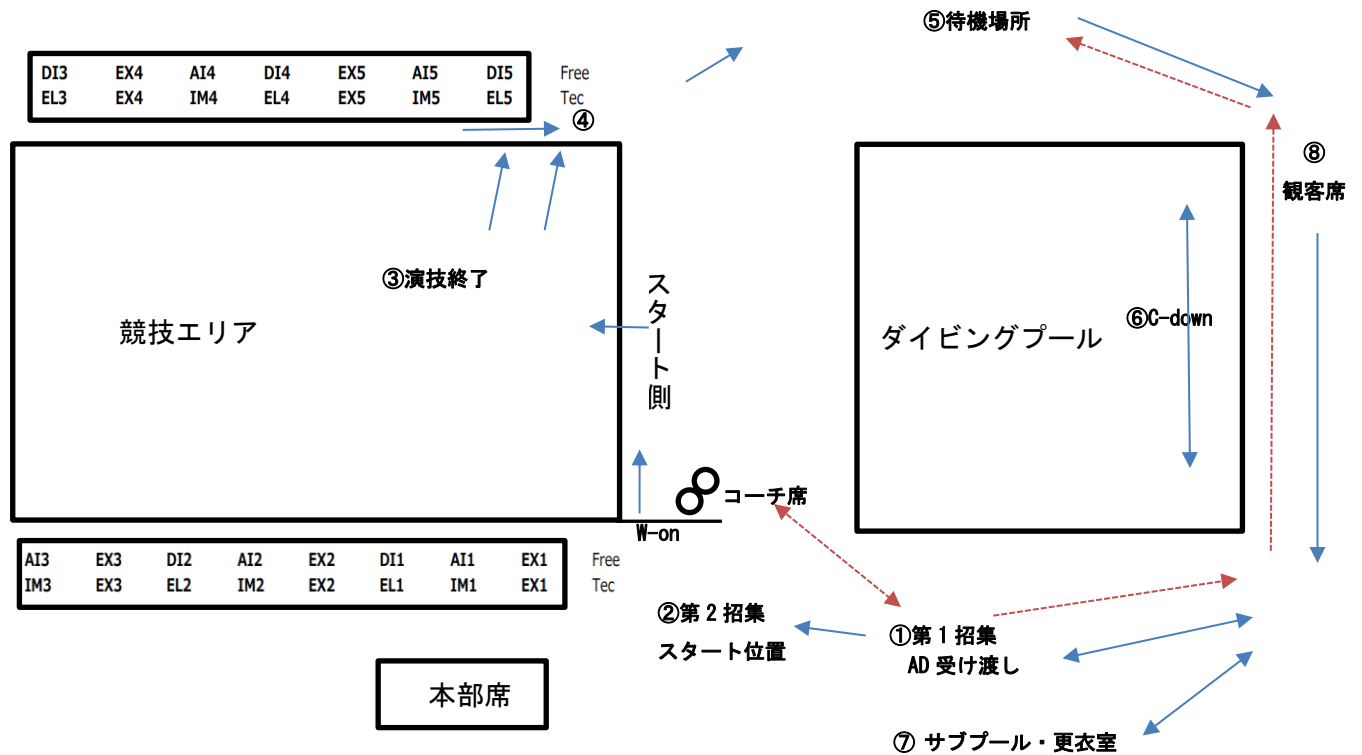
※速報は WEB 掲載・公式掲示板への掲示のみとし、クラブ毎の配付は行わない。

(9) 大会プログラムについて

大会プログラムは受付にて一部 1,000 円で販売する。

以上

【競技プール図】



■選手

- ①第1招集で点呼を受け、指示に従いADカードを提出し、マスクはコーチが保管する。
- ②選手は、ひとつ前の演技・音楽の終了時に、②第2招集（スタート位置）へ移動して待機。
- ③演技終了後は、近くにあるプールサイドへ上がる。
- ④得点はプールサイドで聞く。
- ⑤選手は待機エリアで待機、コーチからマスクとADを受け取り着用する。
- ⑥演技後、ダイビング下でC-down（スイムのみ）可。
- ⑦ダイビング側通路からサブプールを通して更衣室へ戻る。

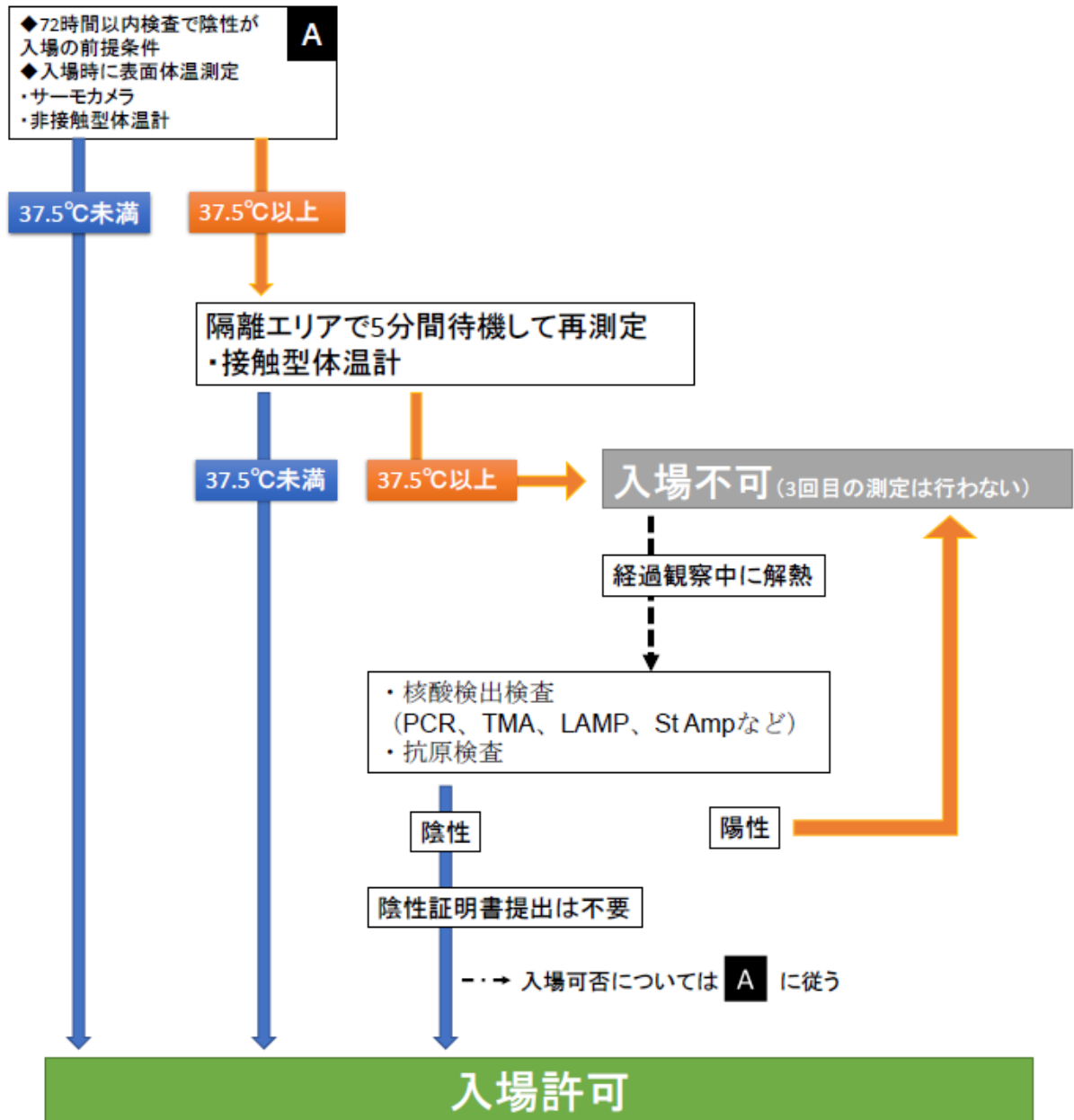
■コーチ

- 1、フェイスシールド・フェイスガード・アイガード等を着用し、①招集所で選手のマスクを受け取り保管する。
- 2、競技中はコーチ席で演技を確認すること。1エントリーにつき2名までコーチ席に立つことができる。コーチ席では密接にならないよう間隔を空けて立つ。
- 3、演技終了後、①招集所で選手のADカードを受け取る。
- 4、コーチは招集でADカードを受け取りダイビング裏から移動して⑥でマスクを受け渡す。

大会の参加に当たって

- (1) 各所在地の自治体や学校・職場から、移動制限等の要請が出ていないか、最終確認を行うこと。
- (2) 本連盟ホームページの「新型コロナウイルス感染拡大時における水泳競技会出場について（2022 年 7 月 25 日再通知）」を確認した上で、参加すること。
- (3) 入館前 6 日間において、以下の事項に該当する場合は、入館できない。出発前に入館者全員に該当しないか確認しておくこと。
 - ・ 平熱を超える発熱
 - ・ 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・ だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）
 - ・ 嗅覚や味覚の異常
 - ・ 体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
- (4) 入館前 14 日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合は、入館できない。
- (5) 「健康チェック表」を入館者全員が持参しているか確認すること。提出できない場合は入館できない。必ず責任者が、選手ならびに来場者の健康状態を確認し、確認欄に押印またはサインをすること。宿泊を伴う場合は、当日の検温ができるように各自の体温計を持参しておくこと。
- (6) 厚生労働省から提供を受けている、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を活用できるよう準備する。COCOA を入れている場合は、電源を ON にした上で Bluetooth を有効にすること。
- (7) マスクを着用していない者は入館を認めない。館内では、泳ぐとき以外はマスクを着用すること。招集所内でもマスクを着用し、会話を控えること。入場準備の際はマスクをはずしてもよい。招集所でははずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。
- (8) コーチは、練習時の大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。競技・練習後のマスクをしていない選手との会話では、マスクに加えフェイスシールド、またはアイガード・ゴーグルを着用し、目からの飛沫感染も防ぐこと。
- (9) 入館から退館時までの全ての場面で、人との距離（2 m 以上）をとって行動すること。
- (10) 競技終了後、移動の前に、マスクを着用すること。
- (11) 唾や痰をプールサイドに吐かないこと。
- (12) 食事は、観客席のみで、人との距離（2 m 以上）を保ち単独で取ること。
- (13) 会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに留意すること。
- (14) 以下のものについては、持ち込み禁止とする。
 - ・ チーム共有の、ドリンクサーバー、アイシングバス
 - ・ メガホン
 - ・ チーム共有のストレッチマット、チューブ、バランスボール、トレーニングバイク等の運動用具（個人専用は持ち込み可）
 - ・ メインプールへのパドル・コード類（サブプールは可）

入館時の判断基準



【別紙 3】

横断幕指定エリア

クラブ関係者席側観客席

プールに向かって座席番号 A2～9 列 1 番～11 番および B1～11 列 18 番～33 番より左側のエリアとします。

